



たくさんの思い出をありがとう 127年の歴史に幕

大浜小学校閉校式

莊 内半島のほぼ中央部に位置し、美しい海と山に囲まれ、明治25年に「莊内村立大浜尋常小学校」として創立された大浜小学校。以来、6,000人以上の卒業生を送り出してきた大浜小学校が、3月31日、127年の歴史に幕を下ろしました。

3 月19日に挙行された閉校式には、児童11人のほか、保護者や地域の人など、約100人が出席。第一部では、前川紀子校長が、「大浜小学校の校章は昭和40年に校歌とともに作成されました。校章には、「大」の字になって羽ばたくカモメが描かれています。皆さんも校章のカモメのように新しい世界へと大きく羽ばたいてください」と児童に言葉を送りました。

続 いて山下乡長が、「大浜小学校、最後の児童となる皆さんには、先輩方が築き上げてきた輝かしい歴史と伝統を胸に、大浜小学校の児童であったことを誇りに思い、それぞれの新たな環境で、さらに頼もしく成長されることを、心から願っています」とあいさつ。

第 二部では、来場者が見守る中、児童一人ひとりが、大浜小学校での思い出を発表。全校生で協力し合って劇を作り上げた「くすの庭発表会」や、地域の皆さんと一体になって盛り上がった運動会、きょうだ

いのように仲良しだという児童11人「なかよしレブン」の絆など、思い出深い小学校生活を振り返りました。

式 典の最後には、三豊市出身の臼杵美智代さんによるサヌカイトの演奏に合わせて全員で校歌を合唱。来場者も懐かしみながら一緒に校歌を口ずさみ、閉校を惜しむ歌声が体育館いっぱい響きわたりました。

前 日に卒業した三好峻正さんは、「大浜小学校がなくなることは悲しいけれど、最後の卒業生であることを誇りに思います。休み時間や昼休みにみんなで話したり、遊んだりしたことが心に残っています。中学校に進んだら、部活を一生懸命頑張りたいです」と大浜小学校への思いと今後の抱負を話してくれました。

大 浜小学校は、学校再配置計画により、詫間小学校と統合することになりました。子どもたちは、思い出と誇りを胸に、新しい環境へと羽ばたきます。

ありがとう 大浜小学校

ありがとう なかよしレブン



▲校庭の大きくすとなかよしレブンの皆さん



⑥一人ずつ思い出を発表。大きな声で発表します⑦三豊市出身の臼杵美智代さんによるサヌカイトのミニコンサート⑧校歌を口ずさむ来場者⑨児童からお世話になった先生へ花束の贈呈



①厳粛な空気の中、閉校式が挙行され、大浜小学校の最後の時を見届けようと、児童、保護者、地域の人など約100人が体育館に集まりました②前川校長から市長へ校旗が返納されました③児童代表の言葉を述べる6年生3人④⑤学校の歴史をスライドショーで振り返ります